

関東あまたか

発行者 山中 麗子
発行所 関東あまたか会
事務局E-Mail jimukyoku@kantou-amatakakai.com

コロナ禍での関東あまたか会

関東あまたか会会長 山中 麗子(高21)



お陰様で、今回の会報は、発行から第40号を迎える節目の号となりました。

新型コロナウイルスの影響で、関東あまたか会も大きく様変わりをした1年でした。事業計画が予定通りにできたのは、2月の会報第38号の発送まででした。それからの役員会は、3密を避けるために、大きな会議室を準備しましたが、それ以上にコロナの拡大が早く、役員会も自粛せざるを得ない状況となり、現在は慣れないオンラインで会議を進めています。一番困ったのは新入学生への対応です。例年は、3月末には上京し、学校生活にも落ち着いた6月に歓迎会を予定していますが、それも全くできず残念な限りです。それでも、生活に困っている学生に、何かしてあげられることはないかと話し合い、バイト先の斡旋

をしてくれる役員がおり、学生の手助けをすることができました。また、「2020年度総会・友好の集い」をやむなく中止せざるを得なかったことも、当会にとって大きな打撃となりました。年に1度の再会を楽しみにしている方々から、「中止ですか？仕方がないですね」との連絡をいただき、大変申し訳なく思いました。会の目的は、まずは会員同士の親睦です。お互いに会って、元気な様子を確かめ、近況などを語り、一層の絆を深めることを楽しみにしています。今年度は、新入学生の「歓迎会」や「観桜会」「2021年度総会・友好の集い」も予定どおり計画しております。早くコロナの治療薬やワクチンが行き渡り、平常に戻ることを祈っております。元気に頑張ってくださいませよ。



伝統つないだ雛鵬達

天草高等学校校長 平田 浩一(高31)



関東あまたか会の皆様におかれましては、ご清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。発行につきましても重ねてお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動に對しまして、ご理解ご支援を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、楽しみにしていた学校行事や部活動の大会がことごとく中止・延期となり、生徒たちは閉塞感を抱きながらの学校生活となりました。このような中、何か思い出づくりとなるもの、学習中心の学校生活のメリハリとなるものができないかと生徒会を中心に考えられた



雛鵬祭看板



体育祭恒例の天高体操



1年3組黑板アート

巧みで表情豊かに編集されており、笑いに包まれる完成度の高い作品ばかりでした。体育の部では、大縄跳び、玉入れ、クラス対抗リレー、綱引きの4種目で、各クラスの団結力を競いました。しかも、伝統の天高体操やハチマキも健在でした。初めての雛鵬祭で、準備や練習の期間も短く大変でしたが、生徒たちの発想力、創造力、行動力はすごいと感じました。天高生のパワーを感じました。雛鵬祭を通して、一人一人のかけがえのない思い出が育まれたように思います。天高の歴史と伝統が雛鵬祭という新たな文化を生み出し、体育大会や文化祭における天高魂の伝統をつないだように思います。現在、雛鵬祭で得た団結力や絆で、3年生は進路実現に向け、1・2年生は充実した学校生活に向け、頑張っているところです。このように、コロナ禍にあっても、今できることに一生懸命に取り組むことを通して、雛鵬達は翼を鍛え、日々成長しています。この春には、卒業生が関東の地にお世話になります。これまで同様、声をかけていただければと存じます。終わりに、関東あまたか会の益々の発展を祈念申し上げます。

歴代会長のご紹介

会報発行第40号の節目にあたり、歴代会長を紹介いたします。歴代会長の就任期間は次のとおりです。

- 初代 村上 義行(高1)
- 昭和58年10月〜昭和61年8月
- 第2代 西 功(高2)
- 昭和61年8月〜平成4年10月
- 第3代 泉 道男(高3)
- 平成4年10月〜平成6年10月
- 第4代 西 功(高2)
- 平成6年10月〜平成11年10月
- 第5代 廣田 和史(高4)
- 平成11年10月〜平成13年10月
- 第6代 小川 矩正(高5)
- 平成13年10月〜平成16年2月
- 第7代 山田 清(高12)
- 平成16年2月〜平成18年10月
- 第8代 平田 俊清(高10)
- 平成18年10月〜平成23年12月
- 第9代 松尾 和幸(高16)
- 平成24年1月〜令和1年12月

屋形船での同窓会

第7代会長

山田 清(高12)



平成22年は、天草高等学校昭和35年卒業生の卒業50周年記念

の年になり、その同窓会に関東から18名が参加し、全体で100名ほどの同級生が集まり、天高の青春の1ページに浸りました。会は盛会に無事終了しました。

そんな流れの中で天草三五会から「東京に行きたいと思います。検討してほしい」と連絡を受けましたので、都内に住んでいる同級生に相談し、候補は色々ありましたが、世話人の会で『屋形船』に決めました。

○日時 平成22年11月10日(水) 午後5時、出船5時半

○集合場所 駒形寿司

○コース 浅草・隅田川の屋形船

- ①駒形橋②厩橋③蔵前橋④総武線鉄橋⑤両国橋⑥高速両国JCT⑦新大橋⑧清澄橋⑨高速深川線の隅田川大橋⑩永代橋⑪中央大橋⑫佃大橋⑬勝鬨橋⑭レインボーブリッジでした。

品川沖付近で停泊し、光の夜景の東京見物と橋をめぐる、寿司と



揚げたての天ぷら、刺身などを楽しみました。故郷天草から来てくれた皆さんとの交流は、昔話に花が咲き、いくら話しても話

は尽きないものがありました。下船するのに、浅草まで戻り、3時間の歓迎会でした。二次会は銀座「赤石」に寄り道し、夜の更け行くまで語り合いながら、酒とカラオケで楽しみました。

東京での1日、友との交流は、距離を超え、青春時代を呼び戻し、同級生の絆を一層深めたものです。故郷天草では、東京三五会が歓迎し、交流した屋形船での思い出が、今でも懐かしく語られているとか聞いております。嬉しいことです。

81歳わが人生の想い出と想い

第8代会長 田 俊清(高10)



昭和14年9月21日、本渡町馬場生まれ81歳です。昭和21年4月に坂瀬川小学校に入学しました。

坂中生徒時代は、二江中、手野中などのスポーツ分野で多くの知人、友人ができました。

天高時代は学校林の整備、マラソン大会、体育祭などで多くの学友とエンジョイしました。

趣味はラジオで深夜放送を聞くことでした。進学は、理系か文系および国立か私立かなどと進路選択に悩みますが、親戚の勧めと映画「ミクロの決死圏」を鑑賞した影響で、医学系大学を目標に受験の準備をしました。

しかし、石炭から石油へと移行期に入り、炭鉱を主な得意先にしていた父の事業は厳しくなり、3年生後半から実家の事業を手伝うために進学を断念しました。

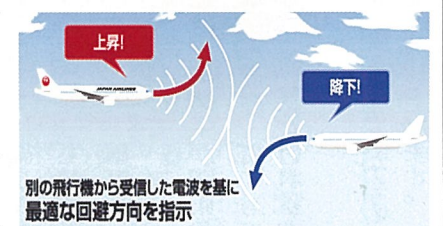
卒業6カ月後の9月に再度、医学系大学を目指す予備校として工学系専門学校(父友人の紹介)に入学するために上京しました。

専門学校就学終了まで6カ月を残した昭和35年9月に、副校長の紹介で東洋通信機株式会社を訪問した当日、入社することになりました。なお、医学系大学進学は断念しました。

業務は主として船舶、航空機などの移動通信、航法、監視機器システムの研究開発および商品化の担当になりました。代表的な研究開発および商品化の成果は、航空

機衝突防止装置です。

開発のきっかけは、昭和46年7月に、電石上空での全日空機



空中衝突防止装置

と自衛隊機の空中衝突事故の教訓から、衝突防止対策について関係機関から依頼があったからです。開発成果は、衝突防止装置の性能規格と運用基準が国際基準化に採用され、旅客航空機の搭載が義務化されることになりました。

航空交通の安全性には航空機と地上の管制通信が必須です。確実な管制通信のためには航空衛星通信が不可欠な手段です。提案した航空機搭載衛星通信アンテナシステムの商品化および機体に装備する技術基準が国際規格に採用されました。

会社には39年間勤務し、60歳で定年退職を迎えました。退職後は航空電子システム研究所を創立しました。航空宇宙衛星関係の研究所、大学、航空関連協会、各航空会社などから委託されたテーマに、必要な研究開発者でプロジェクトを編成運営しています。



この春、日本大学経済学部に入学することになりました。

春より日本大学へ 上中 和(やまと) (天草高校3年)

一方、高齢なので苦しむより抗がん剤を止め、緩和ケアで最期を迎えてはとアドバイスする資料もあり思案していたところ、妻から治療も受けないで最期を迎えるなんて弱気を出すんじゃないとハッパをかけられ(笑)、抗がん剤の投与で様子を見ることにした。案ずるよりは産むがやすし。薬との相性がいいのか、お陰様で副作用らしい副作用もなく、むしろ元気になったようで驚いている。その理由の一つに太極拳で地域の仲間たちと約20年間毎朝、脊髄を中心とした上半身のひねりと股関節のゆるみを中心に鍛えてきた所為か、免疫力が付き副作用に強い体になっているらしい。食事、運動、抗がん剤の投与に加えストレスのない生活が一番の治療らしい。これからは今まで以上に、太極拳の仲間と太極拳を楽しみながら免疫力を高め、余命半年が幾ばくか延命になれば幸いである。

高校生活では、勉強や部活動に加え、校外活動にも積極的に取り組みました。とくに私は、先輩方が作ってこられた伝統ある天草高校のソフトボール部に所属し、3年間全国大会を目指して練習に励んできました。平日は時間いっぱい、土日は朝早くから夕方までソフト三昧の3年間だったと思います。練習の中で、自分の課題を克服するために、意識を高く持ち努力を続けました。結果をなかなか出すことができずにつらい毎日でしたが、身体的にも精神的にも大きく成長できたと思います。今年度はコロナウイルス感染拡大防止により高校総体が中止となり、代替大会という形で3年生の最後の大会が開催されました。一試合限定ではありましたが、最後に3年生全員で戦えたことが一番の思い出になりました。私は将来、祖父の会社を引き継ぎたいという目標があり、これから政治経済の勉強や経営者に必要なものを学んでいきたいと考えています。入学後は、多くの方との交流を通して、自分の視野を広げ、グローバルな思考を養っていききたいと考えています。そして、天草の地域活性化、ブランド力向上に努めて

いきたいと思っています。今年はセンター試験が大学入学共通テストに変わり、出題傾向が大きく変わるとされています。過去問が全くなく、一般入試を受ける受験生は例年より不安が大きいと思います。天高生全員で受験を戦っていくために、合格した生徒の協力が必要になると思います。一人でも多く志望校に合格できるように、天高3年生全員で頑張っていきます。コロナと今の現状
有江 玲旺
(大東文化大学2年)



2020年は社会全体が忙しく変化していきないうちで、大学生が静かに折り返し地点を迎えようとしています。今年度は新型コロナウイルスが世界全体で感染拡大し、日本国内でも緊急事態宣言が出されることになり、これに伴い大学の授業も1年間オンライン形式となってしまいました。日々画面に向かって1人で授業を受けていると、これまでの当たり前前の生活が貴重な時間であった

ことを痛感するようになりました。高校時代、大学では語学の勉強を本格的にやりたいと思います。今の大学に進学しましたが、現状は、自分が思い描いていたものとは全く違うものとなってしまいました。去年は、周りに自分と同じ思いをもって勉強をしている友が沢山いたので、スキルアップしていることを実感しながら勉強することができました。しかし今年度は、語学を話すことがほぼなくなり、オンライン授業だけで語学力が本当に身についているのか分からなくなりました。また、小さい頃からの目標だった留学も、コロナにより大学側から来年度も継続して全面留学禁止と言われ、叶えることのできない目標となってしまいました。学業だけでなくバイトもコロナにより辞めざるを得なくなり、この先どうなっていくのか分からないう不安な日々を送っています。残りわずかとなった大学生活はコロナ対策を万全にしなから、新しい生活様式の中で悔いの残らない時間を過ごしたいと思っています。こんな時だからこそ、空元気でも上を向いて、夢に向かって頑張っていきたいと思っています。



新型コロナウイルス等の関係で天草へ帰郷を検討されている皆さん

めぐみ保育園

一緒に働きませんか?

めぐみ保育園HP

周合せ 電話0969-23-7334(担当:金子)

〒863-0038 熊本県天草市南町6-9

5万㎡の広大なリゾート

ALÉGRIA

〒863-0001 熊本県天草市本渡町広瀬996
TEL (0969) 22-3161

http://www.hotel-alegria.jp

「未来のマークをつくろう」で 優秀賞を受賞

国立研究開発法人科学技術振興機構主催の「サイエンスアゴラ2020」が、11月13日～22日、科学と社会の関係を深める10日間として行われました。サイエンスアゴラとは、あらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場の総称です。

その10日間の最初に行われたのが、「未来のマークをつくろう」コンテスト表彰式です。

これは未来社会に新しい技術が広まった時、その技術を認識するための標識やマークが必要になるので、そのマークを公募したものです。

このコンテストで科学部1年の畑口さんが優秀賞を受賞しました。

畑口さんは「走るだけで空気を綺麗にするタイヤ」のマークをデザインしました。

審査委員から「空気を汚さない」ではなく、さらに1歩先の「空気を綺麗にする」まで考えた夢のあるデザインだと称賛されました。

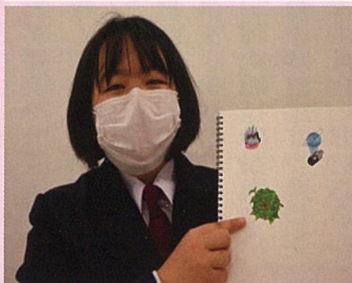
表彰式は、11月13日(金)13時から行われ、その様子が、YouTubeで全国に配信されました。(編集部)

サイエンスアゴラ2020
「未来のマークをつくろう」優秀賞



作者: umebg4
アピールポイント: 私がこのマークを考えた理由は、走るだけで空気を綺麗にする車があればと考えたからです。環境を綺麗にするという点を考えて、葉っぱからできたタイヤを想像したものです。

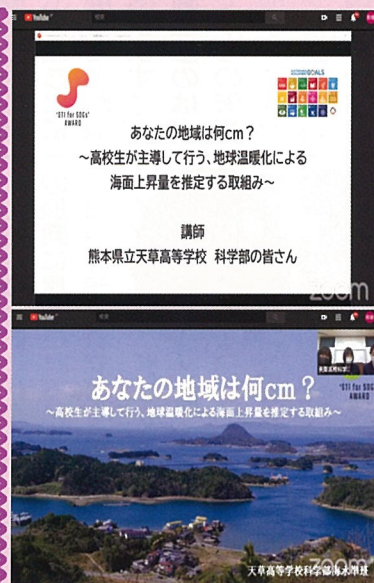
サイエンスアゴラ事務局が考える
実現の時期 → かなり近い未来



天高科学部の活躍

「エコプロ ON LINE 2020」にて 科学部海水準班が講演

11月25日(水)～28日(土)の間、日本経済新聞及び一般社団法人サステナブル経営推進機構主催による「エコプロ ON LINE 2020」が開催されました。



科学部の皆さんは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「STI for SDGs」アワード受賞取組み紹介において、天草高校からオンラインにて講演を行いました。

視聴者にはYouTubeオンラインで生中継され、その後12月25日までアーカイブとして公開されました。

「あなたの地域は何cm? ~高校生が主導して行う、地球温暖化による海面上昇量を推定する仕組み~」を講演しました。アーカイブでは、200回の視聴があり

ました。

科学部の皆さんは立派でした。講演お疲れ様でした。

また科学部は、3月21日(日)関西学院大学で開催される「WWW・SGH×探求甲子園」の探究活動プレゼンテーションに選ばれました。出場校は、全国で30校のみだそうです。(編集部)

「崎津集落」世界遺産のあゆみと課題

崎津資料館みなと屋勤務
天草文化協会副会長 玉木 譲



2007年1月、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界文化遺産の暫定リストに記載されたが、「隣接する遺産について検討すること」と指示された。そして2012年6月、長崎県世界学術会議において「崎津集落」を含む14の構成遺産が決定し、世界遺産を目指すこととなった。

ところが2016年9月、「教会建築をメインとした従来の構成を、江戸時代の潜伏キリシタンや各集落で育まれた独特の文化を中心にするように」というイコモスの指摘を受け、名称も「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と改めた。

2018年6月30日、11年間にわたる紆余曲折を経て、中東・パーレーンにおけるユネスコの世界遺産委員会において、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録が決定した。その瞬間、富津地区コミュニティセンターに詰めかけた地元住民、関係者の間から歓喜の声会場いっぱいになり響いた。

世界遺産登録後、マスコミが大きく取り上げてくれた効果もあって、16万人以上の観光客が「崎津集落」を訪れるようになった。現在は新型コロナの影響もあって減少しているが、それでも平日200~300人、土・日曜日は600~700人が見物に訪れている。

ただし、観光客の大半が「崎津教会」が世界遺産だと思い込まれているが、江戸時代の厳しいキリシタン弾圧の中であって、命がけで信仰を守ってきたその歴史と遺産にも目を向けてほしいと願っている。その上で、今回の構成遺産からは外れたが、潜伏キリシタンの歴史と文化を色濃く残している今富・大江集落にも、もっと焦点をあてる必要があると思われる。

また、「崎津集落」の景観は世界遺産登録前後から格段に整備されたが、今後、急速に進みつつある少子高齢化・過疎化に対応し、今回の世界遺産を地域の活性化にどう生かすが、最大の課題である。



崎津集落



崎津教会

天草よかとこ

西田 勝年(高12)



ご存知のとおり、天草の自然風土は抜群です。天草の山々は、

なだらかでおっとりしています。

海は洋々として、普段は波がなくて陽を浴びて輝いています。

自然環境に恵まれ、鳥たちは「あたこと」されないから、自由のびのびとさえずり飛び回って、人家の近くにきます。

メジロはかごの中に入れているミカンを食べて帰ります。実のところ、

おおらかな天草の風土の中で高校生活を送ることができたことに感謝しつつ、天草に戻ってよかったです。改めて実感しています。

そんな思いを一層高めるのは、5年前に天草定住してからの天高同窓生とのふれあいです。

一つは、『三五会』に誘っていただいたことです。地元の12回生有志4名で創立された『三五会』は、節目節目に大同窓会を開催し、全国の同級生へ毎年、暑中見舞いのハガキを出し、同級生との交流に努めています。素晴らしいのは毎月の例会を三五会創立以来1回も欠かすことなく継続されている

ことです。昨年12月には50周年記念祝賀会が開催されました。毎月の例会は、酒を呑みながら言いたい放題談笑快楽で盛り上がります。私は忘れかけていた故郷の感覚を取り戻し、今はどっぶりつつっています。

二つは、天草高校陸上競技部OB会です。年1回の懇親会が開かれています。今年はコロナ禍のなか中止でしたが、毎年参加させてもらっています。参加者約40名、先輩後輩で、陸上競技の話題や近況報告で盛り上がりです。楽しいひと時です。地元のOBの皆さんは、天草陸上競技選手権大会など天草の陸上競技大会の役員や審判として活躍され、天草の陸上競技の振興に尽力されています。

三つは、中京支部で発行されている文集「わつく」(函南26号に掲載されています)への投稿です。天草に帰ってから「わつく」に投稿しろと、12回生の友人から勧められ、途中から参加しました。投稿者の方々の旅行・趣味・俳句・文学などの内容は読み応えがあります。紙面を通して天高同窓生との交流をさせてもらいました。近くに富岡城城代家老の三宅藤兵衛の墓があります。そのことを「わつく」に書きました。昨春秋天草では明智光秀の孫・三宅藤兵



千人塚

衛が脚光を浴び、キリシタン館での企画展、市民センターでの講演会が開かれていましたので、企画展に行ってきました。その時、高校時代、課外授業や陸上競技の練習でよく行っていた千人塚を通りました。懐かしかったですね。

横浜在住の時は、関東あまたか会の先輩、後輩、同級生と数々のお付き合いをいただき、良き思い出となり感謝をしております。

関東あまたか会の組織的な運営体制の充実発展を図られて次世代の山中会長へバトンタッチされた松尾名誉会長のご健勝と、関東あまたかの発展を祈念いたします。

天高時代の出会い

須崎 剛(高16)



天高16回生のほとんどは終戦の年、昭和20年4月から翌年3

月に生まれ、戦後75年と共に歩んできた。

天高に入学したのは昭和36年4月、1年3組、学級担任は生物担当の中村清一郎先生。よく冗談を飛ばされ、生徒の間では「清ちゃん」と親しまれていた。

各教科担当の先生方も体育の剛毅廉直先生・山並先生を始め、「虎さん」とか「熊さん」などの愛称で呼ばれた個性豊かな方々で、授業も面白く、物理の川上益人先生が得意のチェロを弾いてくださったのも嬉しい思い出。

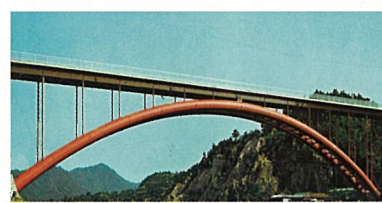
桑原安男先生の現代社会は熊大を出られたばかりで、首席で卒業されたとの噂に違わぬ博覧強記の授業であった。

3年前になるが、その桑原先生のお名前を朝日新聞東京本社版の『声』の欄に見出したときは本当に驚いた。投稿された文面は切り抜いてスクラップ帳に貼っているが「二つの『6・15』主権者の自覚新た」と題するもので、内容は60年近くも前の授業を彷彿させるものだ。現在も「熊本・九条の会」の活動に取り組んでおられると仄聞しているが、今なお同時代に真摯に向き合っておられる先生には敬服するばかりである。天高では敬愛する諸先生や友人等多くの出会いがあった。とりわ

け、後の人生を左右する個人的出会いとして十年後に結婚する1年3組のクラスメートを挙げねばなるまい。

挙式の翌日は三島由紀夫が自害した日。

昨秋、金婚を迎えた。8年のニューヨーク在住を含む半世紀の星霜を経て偕老同穴の途にある。天草で育った18年は井の中の蛙の私が日本、海外へ飛び出す礎を築いた期間である。前回の東京五輪の年に蛙は上京。三角に向かう船上から眺めると、後にNHKドラマ「虹の設計」の題材にもなった五橋の一つ松島橋の工事が佳境にあった。奇しくもそのパイプアーチ橋の製造・掘付を施工していた企業に数年後、蛙は入社する。愛燦燦♪♪の文句ではないが、『人生って不思議なものですね』。



松島橋



金婚を迎えた夫婦

漫画と向き合つて

濱坂 高一郎(高12)



私は、80歳直前の元漫画家です。

1コマ漫画と

4コマ漫画を描いていました。

1コマ漫画と4コマ漫画は、アイデアにヒラメキがいちばん大切です。

「ヒヤーツ、よくこんなことを考えついたもんだなあ!」「どうしてこんなアイデアが生まれたんだろう!」「よくこんなことに気づいたなあ!」と、作者がいちばんビックリするようなアイデアでない、その漫画は面白くないです。

オーバーに言うと、1コマ漫画と4コマ漫画の作者は、毎日毎晩発明発見をしているようなもんです。

こんな生活を送って来たから、2年前あたりから頭がポヤッと緩むことが多く・・・、アイデアがヒラメカ

なくて、

苦しくて

苦しくて描くことを辞めた



いしまくりました。

それで、一昨年2月でもつてすべての仕事から離れることができました。頭が疲れたんでしようね。

来し方の身過ぎ

世過ぎの走馬灯

原田 幸徳(高14)



五・七・五字構成の題名にしたので、分かったら、分かった感

もある。その意味は「走馬灯に映して回して顧みたこれまでの自分の生き様」という感じの意味であることを前置きしたい。

それはさておき、青・壮・中・老と加齢するにつれ、それなりにあれこれと自分も頑張つて生きてきたが、一部の友の訃報に接して自分はどうしたら来世からの引力を弱められるかと案じる今日この頃となった。

一方、最近「百年人生」という言葉が方々で弾むのが目を引く。それを裏付けるかのように先般中曽根元首相やスカールドեսタン元大統領の百歳超えの逝去の報が目に入った。それを思えば、喜寿を過ぎたばかりのバイデン大統領の気力はまだ壮年の域を出ていない感もある。目下喜寿を通過中の

自分も、そう思う方が元氣持続の源泉になるのかも知れない。

実は、自分が学生時代の学園祭で講演に立たれた中曽根氏は当時正に壮年代議士だった。講演後、自分にマイクを回してもらい質問したことがある。同氏は直接会話を交わせた数少ないエライさんの一人になつている。講師を紹介した恩師の先生は、同氏を将来の首相候補だと持ち上げていたが、後年その通りになり、「よおし!」と思わず声を出す自分がいた。

先般の選挙で米国の歴代最高齢(78歳)の大統領となつたバイデン氏の激務への挑戦を見て、江戸中期の米沢藩主の上杉鷹山が残した名言の「為せばなる、為さねばならぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」を思い出した。

そうかも知れない、と思いつつ自分がこれから何に挑戦していくかを本会報で呟いてみるかと一旦は思ったが、実現の当てもない妄想をよくも書けたものだと失笑を買いそうなので、自分の来し方の思い出だけを青・壮・中・老の順に走馬灯に照らして顧みた。

●青年期(20代前半)

1962年に天高を卒業後すぐ熊本駅へ東京駅間を約22時間かけて走る汽車ポッポに乗って憧れの東京に到着。終点到着を知らせ

るあの「トオクキョウ」の構内放送が今でも耳にこびり付いて離れない。地図を片手に、天草出身の方が営む東中野の下宿に辿り着いて、同窓の先輩達と同じ釜の飯を食みながら、東京暮らしの指南を授かりつつ、何とか東京人の仲間入りを果たすことができた。

その後、家庭教師のバイト先への交通の便に鑑み、当時文京区にあった熊本県人学生寮に入寮したが、後日、寮祭での柔道大会で、警視庁に就職が内定していた先輩を、体育系でない自分が押さえ込んで、まぐれ勝ちした思い出はまだまだ消え失せることがない。

その年(大学2年の1964年)開催された東京五輪時に幸運にも授かったTBSでのアルバイトは、金メダリスト達とのインタビュー室で、テレビ画面にテロップを流す手作業だった。いつしかデジタ化で消えてなくなった仕事だが、あの時はカメラマンと一緒に数m前の多数の金メダリスト達を連日目の前で直接拝顔したり、メダリスト達の退室時に握手したり、サインを貰ったりできたことは、人生最極とも言えるレアシーンだったと今も思う。

当時の日本中を沸かしたマラソン優勝のアベベ選手や女子体操の花だったチャップラフス力選手に声



筆者の顔写真。

右は青年期、左は老年期。経年劣化が見られるが、老成できれば「百年人生」も目指す価値ありと思うほかなく

をかけることができた自分は宝くじの高額当選を当てたに等しい気分だったが、バイト代でテレビを買ったことは叶わず、寮の食堂に備えてあったテレビで、五輪のハイライトシーンを何度も繰り返し観ていたことを思い出す。

1966年に無事大学を卒業して、何とか衣食住を賄える宮仕え人生航路に旅立つ。その年の暮れには、開通直後の天草五橋の初渡りを果たして帰省した思い出も消え失せることがない。その頃マスコミで踊った3C(カラーTV、クーラー、カー)のうち、何とかしてカーを手に入れ、東京へ天草間を突っ走る夢をみたが、その実現はそれからかなり先のことだった。

●壮・中年期(20代後半～定年)

それから定年(60歳)までの宮仕え期間に、職住接近などの諸事情で何度も住所を変更した。一



年以上住んだ場所は相模原市、品川区、横浜市内3回、千葉市、町田市、イスラマバード、ロサンゼルスとなった。学生時代の中野区と文京区を加えた引越し回数合計は11回に及んだ。面倒なこともあり、頻繁な終電帰宅もあったが住んだ所はどこも楽しい街だった。

その間の宮仕え業務は、住所に無関係に海外関係が多かった。国際入札での提案書作りでは、頻繁に終電帰宅を繰り返した。都心に勤務時の結婚を機に、通勤範囲にあった千葉市稲毛にマンションを買い、休日には近くの海岸で潮干狩りを楽しんでいたが、横浜転勤の命を受け社宅住まいとなった。その間町田に土地を買い、しばらくして戸建住宅を建てて現在もそこに住む。

横浜住まいの独身時代に日本初のビジネススクールへの通学を命じられた。居眠りが多いと注意を受けたこともあったが、当時のクラスメートとの楽しい学・遊・食での交流は、数十年に亘って今も長く続いている。

(紙面の関係上、寄稿文の後半は次号で続編として掲載予定)

人生の師との出会い

園田 達彦 (高16)



私の東京生活の第一歩は、東京オリンピッククムードで盛り上がる1964年4月でした。父親は学校の教師をする傍ら、先祖代々伝わる農林業も営んでいた関係で、長男の私には将来実家の後継ぎを強く望んでいました。両親を説得して、卒業後は熊本県内の教師を志望するという約束で東京の大学進学を認めてくれました。

ところが4年生になり、教育学のゼミの伏見猛弥教授から研究室へ呼ばれ、卒業後の進路について尋ねられ「教師になるなら新しい教育に挑戦してみないか、もし良かったら僕の研究所へ見学にいって下さい」とお誘いを受けました。

私が大学でもっとも尊敬している先生に声をかけられ、早速訪ねてみました。実は、これが私の生涯の人生を大きく左右するきっかけとなったのです。

伏見先生は、21世紀はIT時代になることを予測して、記憶力よりも考える力や創造力が重要になると考え、玉川大学教授の傍ら研究所を設立して、現在では国の

重要な教育政策になってきました。が、当時としてはとても先覚的な教育を主宰されていました。

この研究所へ何度か見学に行き、伏見先生や研究員たちの情熱に共感するとともに、独自に開発した教育システムで幼児や小学生たちの活発な学習活動に大変感動して、私もこうした教育に取り組んでみたいという気持ちが段々強くなってきました。

大学卒業後は必ず帰郷するという両親との約束もあり大変悩みましたが、研究員として伏見先生に師事し、研究所のプランに基づき発足する新しい学校創りに参加することにしました。

21世紀型の教育を目指す小学校は、1968年4月から聖徳学園において30名の新入生が入学して始まりました。当時としてはとても斬新な教育システムだったため、NHKはじめマスコミの関心を集め、全国の教育界から注目されるようになってきました。

学校が注目されると批判も多くなり、社会から評価されるようになるまでは、苦勞の連続で順風満帆ではありませんでしたが、21世紀の社会で活躍する卒業生たちは大きな財産となりました。

それとともに国に先駆けて教育改革を推進し、志半ばで世界され

た偉大な恩師に、少しはご恩返しのできたような思いです。

私を変えたもの

馬場 信子 (高21)



「24人のベリリーガン」を存じでしょうか？ 1人の中に24の人格がいて好き勝手にベリリーの肉體を使っているのです。著者のダニエル・キイスは刑務所でベリリーを取材して真実だと確信しました。警察は嘘を暴くべく何人もの専門家にベリリーを調べさせましたが、芝居とは判定できませんでした。

24人は本当に様々な人間でした。ある者はオックスフォード訛りの英語を話し、流暢なアラビア語と文字を操ります。なんでも18世紀のロンドンに住んでいるとか。他にも銃に堪能で怪力の持ち主や、個展が開けるほど絵がうまい者などがいます。虐待されて育ち、小学校も満足に通えなかったベリリーからは、到底考えられない才能です。

それまでの私は、靈魂や前世はあるかも知れない、と思っただけでしたが現世で証拠を見せられ、58歳の時、好奇心から覗いたお寺で自分の前世や運命を教えられる幸運に出会いました。そして運

Anakusa Santa Coming Hotel Bridal Plan

サントスティックウェディング

ゲストと一緒に楽しむ結婚式を！

http://red-happiness.com

アマクサ サンタ コミング ホテル
〒365-0045 埼玉県天草市亀岡町亀川 74-3
TEL 0965-22-0100 FAX 0965-24-3472

警備に関することはなんでも相談せんね!

(株)機動警備

代表取締役社長 山下 純二
(天高19回生 姫戸出身)

電話: 048-728-5530
FAX: 048-728-8085

クラブ赤石

赤石 洋子 (本渡出身)

〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-7
第3ソエアレ・ド銀座ビル5階

TEL: 03-3573-3994
携帯: 090-5325-9377
E-Mail: y_akaishi@f2.dion.ne.jp

(銀座8丁目中央通り 博品館並び5軒先)



命は、改革できるというところ、自分の生き方で自分や先祖、子孫の運命が決まるということにも納得したのです。

苦しんでいる祖先がいれば自分が病気になったり、事故に遭ったりするので、回向で先祖を供養すること。自分はお護摩で身を浄め、他人を笑顔にすることで良い来世を得られること。自然災禍でさえも仏の御心に沿っていない証だということも。

学生の頃は主体性を金科玉条にして、他人に好かれることはその人におもねることと信じて協調性がないことを誇ってささいました。社会に出て間違いかも知れないと思いましたが、頼るべき思想を知りませんでした。それがお釈迦様の教えを説く仏教に出会って、考え方の基本を教えられたのです。実は関東あまたか会の会計を引き受けているのも、人の役に立ちなさいと教えられたからです。今、私は若い頃とは真逆の生き方を模索しています。少し遅すぎた恨みはありませんが、自分と孫と先祖と世界中の生き物のために、できる限りの努力をしたいと願っています。

歌と船乗りの世界

山下 喜丸(高24)



歌が好きだから船乗りになったのか？は、どうでもよいことだろうが、「港、港に女あり」のこの仕事を続けて50年になる。今でこそ、経済的に余裕もでき、北海道から沖縄まで国内のカラオケ、居酒屋、スナックのママさんから「金は要らないから、また必ず来てね」と言ってくれる行きつけの店もできた。

しかし、天高を卒業したばかりの18歳が、金もなく、休暇もなく、わずかな小銭だけで続けてこられた理由は、7人兄弟の中で、一人だけの男として生まれたから、父母や周りの親戚からの愛情を溢れるほど受けたからである。さらに6人の姉妹を嫁がせるために、年若いおまお一杯船主の仕事をする続ける両親の背中を見て育ったからだろう。

自分の結婚観などはどうでもよく、船と結婚してもよいくらいにやけくそに考えていた27歳の時、ある人のお世話で、船のことは何もわからない都会育ちの妻と結婚した。妻は、2年間一緒に乗船し、

さらに7人の子供を産んでくれた。屋号というべき山下家の船名は「七宝丸」(写真真父が所有していた船。今は、第八神勢丸(千石)を操船している。



父の七宝丸



お正月の家族写真

私の生ま

れは、天草の中でも交通不便な御所浦町横浦島の与一ヶ浦。昔から出稼ぎの島だった。そこは、世界に繋がる海があり、一杯船主が多かった。小さい頃から父の船に乗せてもらって行った神戸、横浜の大きな港の華やかさが好きだった。紙とハサミと暇さえあれば、いつも船の模型を作っていた。

67歳の今は、仕事で80mの船体を、強風の中でも自分の手足のように岸壁に「ピタッ」と傷つけることなく接岸できた時は、船乗りとしての充実感がたまらない。ある港で、スクリューにロープが巻き付き、プロのダイバーに頼

むかと思ったが、出港時間に間に合わず、金と時間もかかるので、自ら下着だけで潜った。そして、外したロープを持って海面に現れた時は、岸壁で心配そうに見ていた陸の人に「やっぱり、船乗りは違うな！」と拍手をもらった。

今の時代、コロナウイルスに自分だけが罹らないなんてできないので、自らの免疫力を高めるために、生の魚を刺身で食べるのがよいと自分で勝手に考えている。磯の香りと潮の匂いの船乗り生活は、陸の密集さに比べると健康的かもしれない。魚の中でも鮪とか鯛よりも、鯛、鱈、秋刀魚などの小魚の刺身を自ら包丁を持ち、面倒くさくても料理する楽しさを感じたい。さらには元氣になれる。私は、まな板の上に玉ねぎ、味噌、生姜、ニンニク、レモン皮と小魚刺身を包丁で叩いて作る「なめろう」が好きだ。

昔から酔いしなかったわけではなく、大しけの玄海灘で3日間何も食べられず、吐く物もなく、胃液を吐いた時もあった。今では、酔いしれても「歌う」ことにしている。

気分が悪くなって部屋の奥に閉じこもっていたのでは、逆に吐き気を催すだけだ。デッキに出て新しい空気を吸い、古い空気を出せ

ばよい。そして歌うのが一番良い。激動の昭和初期の歌の中にも多くの名曲があり、「喜びも悲しみも幾年月」「鐘の鳴る丘」「長崎の鐘」など、歌えば元氣の出る歌、噛めば噛むほどに味が出てくるスルメのように、味が滲み出る歌もある。「慰め、励まし」の言葉にこそ、勇気と希望をもらった。

周りの人々から「子供が多いと教育費に金がかかり大変でしょう？」と聞かれるが、7番目の息子は、高校3年間、コンビニのアパートを続け、商船大学の学費を百万円貯め、「あと50万円足りないから、船乗りになったら、必ず返すから貸してくれ」と言った。その昔、18歳になった長男に対しても「船に乗れ」と勧めたが、本人の意志で、親に逆らって奨学金だけで東工大の大学院を卒業した。

子供と一緒に過ごす時間が少なく、子供の独立心が強いのはありがたいが、もう少し親である自分に甘えてくれてもよかったのと思う。

年間365日のうち、天草に20日、川崎に60日、残りの月日は、全国の港を旅する三重生活者の立場として、「月日は百代の過客にして・舟の上には生涯を浮かべ・日々旅にして旅を栖(すみ

コロナ禍の勤務

琴原 成啓 (高66)



私は現在、企業とユーザー間の体験を創る、いわば「イベント・展示会・商業空間」を創る会社に勤務しております。

会社の現状は、新型コロナウイルスの影響により、残念ながらダメージが大きいということは言うまでもありません。

しかし、もつとも打撃を大きく受ける業界にいるからこそ、企業の動きがわかることもたくさんあります。

例えば次のようなことです。

- ① 今後のお店の方針や空間をどう設計すればいいのか(大手化粧品メーカー、大手旅行代理店より)
- ② 安全を確保できるようにであれば、イベントや大会を実施したいが、どのような開催が望ましいのか(携帯キャリア会社より)

このようなご要望に添えていくのが私の仕事です。とくに私は新規のお客様に向けた営業がメイン

になります。

さて皆さまは、改めてこの1年間を振り返ってみてはいかがでしたでしょうか。私は正直ストレスに感じる事が多くなったと感じています(もちろん心身ともに元気で!).

例えば、緊急事態宣言時は「オンライン飲み、Zoom飲み」なるものが一時的に流行りましたし、あらゆる接点がオンラインになっていきました(ミーティング、セミナー、イベント、買い物など)。場所や移動にとらわれることがなくなり、効率が上がっているのかと思います。とは言っても面と向かって人とふれあう機会が減り、何か物寂しい気持ちもあるかと思えます。

今後、私はこの後者のネガティブな感情をできるだけポジティブに変えるような体験を、会社を通して社会に実装していきたいと思っています。

不要不急という言葉があります。が、不要不急の中に、本来人がふれあう本質的な豊かさもあったりします。感染拡大の助長をしてはいけないことは大前提ですが、不要不急という大きな言葉でまとめず、細かい部分まで分けて考えること、そして本来の豊かさをしっかり考え抜き、社会に豊かさを還

元していきたいと思っています。温かい社会にしたいと思えます。この辛い時期が無駄ではなかったと言えるために全力で精進してまいります。



関東あまたか会役員紹介

高26回生以降の学年幹事を募集しております。
関東あまたか会のために、一緒に頑張りませんか!

本部役員		学年幹事			歴代会長			
役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名
名誉会長	16	松尾 和幸	学年幹事	12	三俣 香代子	第2・4代会長	2	西 功
会長	21	山中 麗子	学年幹事	16	伊東 伸子	第3代会長	3	泉 道男
副会長/会長代行	16	平石 水利	学年幹事	16	松岡 敏治	第7代会長	12	山田 清
副会長/事業担当	17	明瀬 建	学年幹事	17	田尻 鉄矢	第8代会長	10	平田 俊清
副会長/運営統括	18	星野 悦子	学年幹事	17	口元 博	第9代会長	16	松尾 和幸
監査役	20	福田 いく子	学年幹事	18	金子 洋志	相談役		
	21	大島 ひろみ	学年幹事	19	佐藤 純	役職	卒回	氏名
事務局長	25	古閑 学	学年幹事	22	大曲 剛	相談役	14	原田 幸徳
事務局次長/母校	16	金子 和生	学年幹事	24	三宅 盛夫	相談役	15	谷山 弘行
事務局次長/総会	15	松尾 弘美	学年幹事	24	木村 さよ子	相談役	16	園田 達彦
	16	大塚 延子	学年幹事	27	松野 明久	参与		
	16	倉田 藩造	学年幹事	28	江頭 真喜子	役職	卒回	氏名
事務局次長/会計	23	岩野 都美子	学年幹事	31	横島 庄司	参与	9	秋田 健二
	21	馬場 信子	学年幹事	34	佐藤 誠	参与	10	伊藤 博通
事務局次長/広報・HP	25	吉村 いつみ	学年幹事	42	鳥羽瀬 宗一郎	参与	11	大塚 徳満
	42	小浦 大吉	学年幹事	58	渡邊 健			
	48	山下 太郎	学年幹事	63	林田 祐真			
	65	酒井 智彦	学年幹事	70	山崎 美里			

備考: 卒回と氏名欄に緑色マーカーを付している12名は、学年幹事兼務とする。

子どもは地球の宝! 守り育てよう!

赤ちゃんから大人まで安心してご利用頂けます
薬じゃないけど常備役

液体歯みがき 歯みがき剤
[プレミアムナチュラル プレミアムジェル]

株式会社 やくそうの島 天草社
熊本県天草市浄南町59-3 TEL(0969)24-3697

新型コロナウイルス感染症の影響により、奨学生の皆さんもオンライン授業やアルバイト先減少など大きな影響を受けているようです。このような状況の中、昨年も多くの方々にご寄附いただきました。未来を担う学生に力を与えることができる皆様の善意に感謝申し上げます。

皆様からの心のこもったご寄附金が大きな手助けとなっています。
ありがとうございます。

1,000円から
何口でも結構です

郵便局に備え付けの払込取扱票に、東京天草育英会の口座記号・口座番号(00100-4-362127)を、そして加入者名の欄に「一般財団法人 東京天草育英会」とお書きください

一般財団法人 東京天草育英会 理事長 園田峯生

☎03-6261-5598 URL <http://amakusa-ikueikai.com>

〒102-0093 千代田区平河町2-5-7 ヒルクレスト平河町501号

ご理解・ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます

令和2年度年会費を納入された会員の皆様(12月31日現在)

Table listing members who paid the 2020 annual fee, including names, addresses, and phone numbers.

令和2年度年会費に加えて、ご寄附を賜りました会員の皆様

Table listing members who made donations in addition to their 2020 annual fee.

令和2年度に令和3年度年会費を納入された会員の皆様

Table listing members who paid the 2021 annual fee during the 2020 period.

お名前記載漏れや間違いがありましたら、お手数をお掛けしますが、事務局までお知らせください。

令和2年度会計報告

令和2年1月1日～令和2年12月31日

Financial report for 2020, showing income and expenses.

令和3年度予算報告

令和3年1月1日～令和3年12月31日

Financial report for 2021 budget, showing income and expenses.

事務局からのお知らせ(関東あまたか会会報第40号発刊にあたって)

1 はじめに

会員の皆様におかれましては お健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、関東あまたか会会報は平成6年10月に創刊号を発行してから、今回が40号となりました。

会員の皆様全員に会の様々な情報をお知らせする手法として、この会報が四半世紀の長きにわたり、皆様に愛読され支えられてきたことを物語る証だと思えます。

これからもこの会報をご利用いただき、皆様で育て上げていただきたいと思えます。どんなことでも結構です。同級生との思い出、ふるさとの情報、趣味の写真、イラストなどを事務局へお寄せください。

2 年会費および寄附金の納入について

お陰様で、会は堅実かつ順調に運営されています。皆様の多大なご理解とご協力に感謝申し上げます。

令和2年度会計決算は、11頁に掲載のとおりです。新型コロナウイルス感染拡大により、「総会・友好の集い」をはじめ、新卒者歓迎会などの当初計画していた事業の多くが中止を余儀なくされたため、未執行の経費については、繰越金として令和3年度予算に計上することとしました。

会の財務については、これからも財務規律を遵守し、健全な運営を行うとともに、その状況を適宜皆様に開示して透明性を確保してまいります。

令和3年度年会費および寄附金の納入は、同封のゆうちょ銀行の払込取扱票をご使用ください。振込手数料は会で負担します。払込取扱票には、ご面倒でも、払込金額、依頼人の住所・氏名を記載してください。会の振替口座のお知らせは、下記に掲載してあります。

なお、11頁に記載してあります「令和2年度に令和3年度年会費を前納された会員の皆様」には、払込取扱票を同封しておりませんので、今年度に年会費の納入は必要ありません。

3 ホームページについて

ホームページは、平成25年3月9日に開設し、昨年末現在の訪問者延数は44,100名になりました。

まだご覧になっていない方は、ぜひご覧ください。インターネットで「関東あまたか会」と入力し、検索をクリックするとご覧になれます。また、スマホからは、下記に会のホームページの「QRコード」を掲載しましたので、「QRコード」を読み取ってご覧ください。

母校や後輩たちの活躍の様子、会員の皆様から寄せられる郷土天草の話題、会の最新なニュースなどを随時掲示しています。このホームページも皆様のものです。ご覧いただくとともに、同級生会や趣味の会などの開催のお知らせや、お気に入りの写真など、事務局へぜひお寄せください。

4 おわりに

会報発行日は2月10日ですが、関東1都3県に緊急事態宣言が1月8日から3月7日の間、発出・延長されたため、会報発送作業ができず、皆様へお届けするのが遅れましたことをお詫び申し上げます。

昨年から、新型コロナウイルスにより社会経済は大きな転換期となりました。「新状態」の社会において何かと戸惑いも多くありますが、「質実」「剛健」「寛容」の心を燃やして勇んで歩いていきたいものです。

今年が、皆様にとって幸多い1年であることをお祈り申し上げます。今後とも、関東あまたか会へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

事務局連絡先

〒154-0017東京都世田谷区世田谷1-5-15 古閑 学
電話：090-6529-1632 FAX：03-5477-9530
E-Mail：jimkyoku@kantou-amatakakai.com



当会の振替口座のお知らせ

- 1 ゆうちょ銀行から払込む場合
 - ・口座記号番号:00180-6-487424
 - ・口座名義:関東あまたか会
- 2 他の銀行などから払込む場合
 - ・銀行名:ゆうちょ銀行
 - ・口座名義:関東あまたか会
 - ・店名(店番):0一九(ゼロイチキュウ)店(019)
 - ・預金種目:当座
 - ・口座番号:0487424

関東あまたか会ホームページのQRコードです。スマホでご覧になれますので、ご利用ください。

令和3年度 総会・友好の集い

新型コロナウイルス感染症が収束しましたら、今年度は「総会・友好の集い」開催を予定いたします。詳細につきましては、9月発行の会報41号にてお知らせいたします。お早めに、ご予定に入れていただきますようお願い申し上げます。

記

一、日時 令和3年10月31日(日)
12~15時

二、場所 「スクワール麹町」
千代田区麹町6-1-6
電話 03-3234-8739

今回の会報は、平成6年10月の初号の発行から40号の節目を迎えることから、特別企画として編集しました。

歴代会長からの寄稿をはじめ、創刊号発行時のエピソード、関東での生活秘話や郷土天草・天高の逸話など、多くの方から寄せられた興味深い記事で紙面を飾ることができました。原稿を寄せていただきました皆様および広告協賛の皆様方に感謝申し上げます。

なお、今回の会報から、文字数や行数を変更し、一層読みやすい紙面づくりを進めています。年1回の発行で始まった会報も平成12年からは2回の発行になるなど、今日に至る発展を紐解くと、会員の皆様に親しまれ育まれてきた先輩諸氏の熱意に改めて感慨を深くし、皆様のご期待に応えられる会報づくりへの思いを新たにしました次第です。

訃報のお知らせ

この1年間に逝去された方をお知らせいたします。

(前号に未記載)

高3 花里 日出志 様
(2020年11月)

高7 荒居 ツルミ 様
(2020年2月)

高9 鶴田 俊久 様
(2020年1月)

高12 福田 力三 様
(2020年10月)

謹んで哀悼の意を捧げます。

編集後記

古閑 学(高25)